



黒い
堕ちる魔女
果実

続いての商品はこちら！

人類最後の魔女「アルメリア・ヴェネット」です！
しかしこちらの商品…自身に防衛魔術をかけている様で…
この様に性器に近づけると弾かれてしまい
刃物などによる身体への攻撃も弾かれてしまう様です

この魔術は指輪を使って魔女自身が解除しないと解かれないようで
我が社では現在この魔術を解除する研究を行っています
落札者様の調教次第で解除可能かと思われ
この事を踏まえた上でのご入札のほどよろしくお願ひします

魔女の所有品もセットとなっており
そして魔術無力化ラバースーツなどの
我が社の製品の一生保証をさせていただきます！

それではスタートです！

あのクソガキめ…





はいアルメリア様

はいアルメリア様

さあ今日も一日たくさん射精してもらおうわよ
私の可愛いスレイブ達

そして...

はいアルメリア様



お前達に新しい仲間だ
入って来い

さあ私にスレイブとして
その身を捧げると誓え

グロッキー



舐めろ

ゴホッ...

なるほど確かに
面倒だね

なに？漏らしたの？

くっ…違う！

ふふっわかってるよ
対魔術用ラバーだったかな
あの会社も便利なもの作るよねえ
まあ出資したのボクだけど
どう着心地は？
不埒なサディスト魔女には辛いかもね





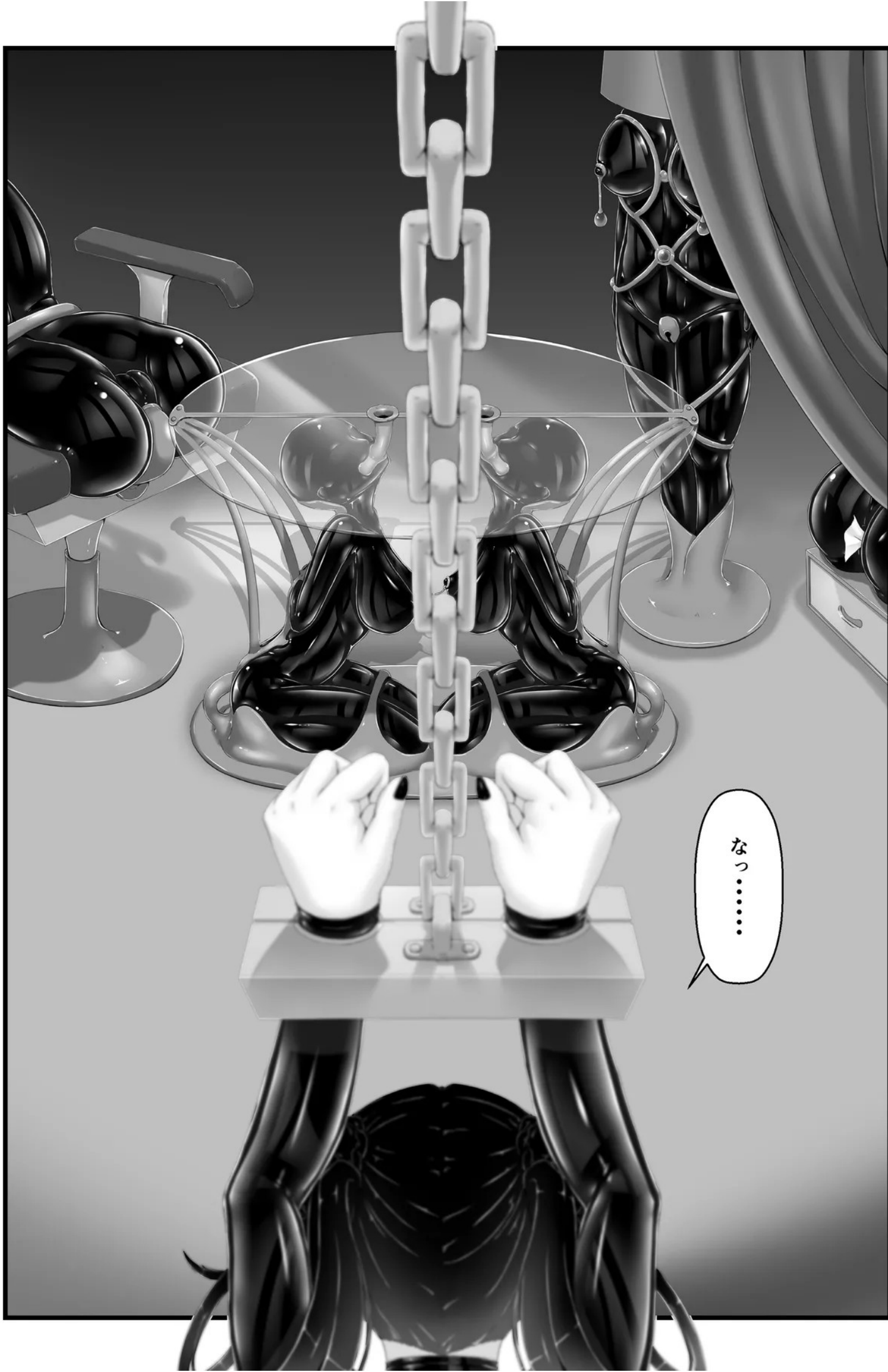
オイ……クソガキ
そろそろいい加減にしろ
あとで後悔することになるぞ

魔女にかけられている魔術は二つ
処女を守る為に性器に触れられない魔術と
体に傷をつけない為の魔術……まあ一つ目はどうでもいい……
2つ目は痛みを受け入れられる体にすればいいだけだ

触るなっ！っ……
聞いているのか！

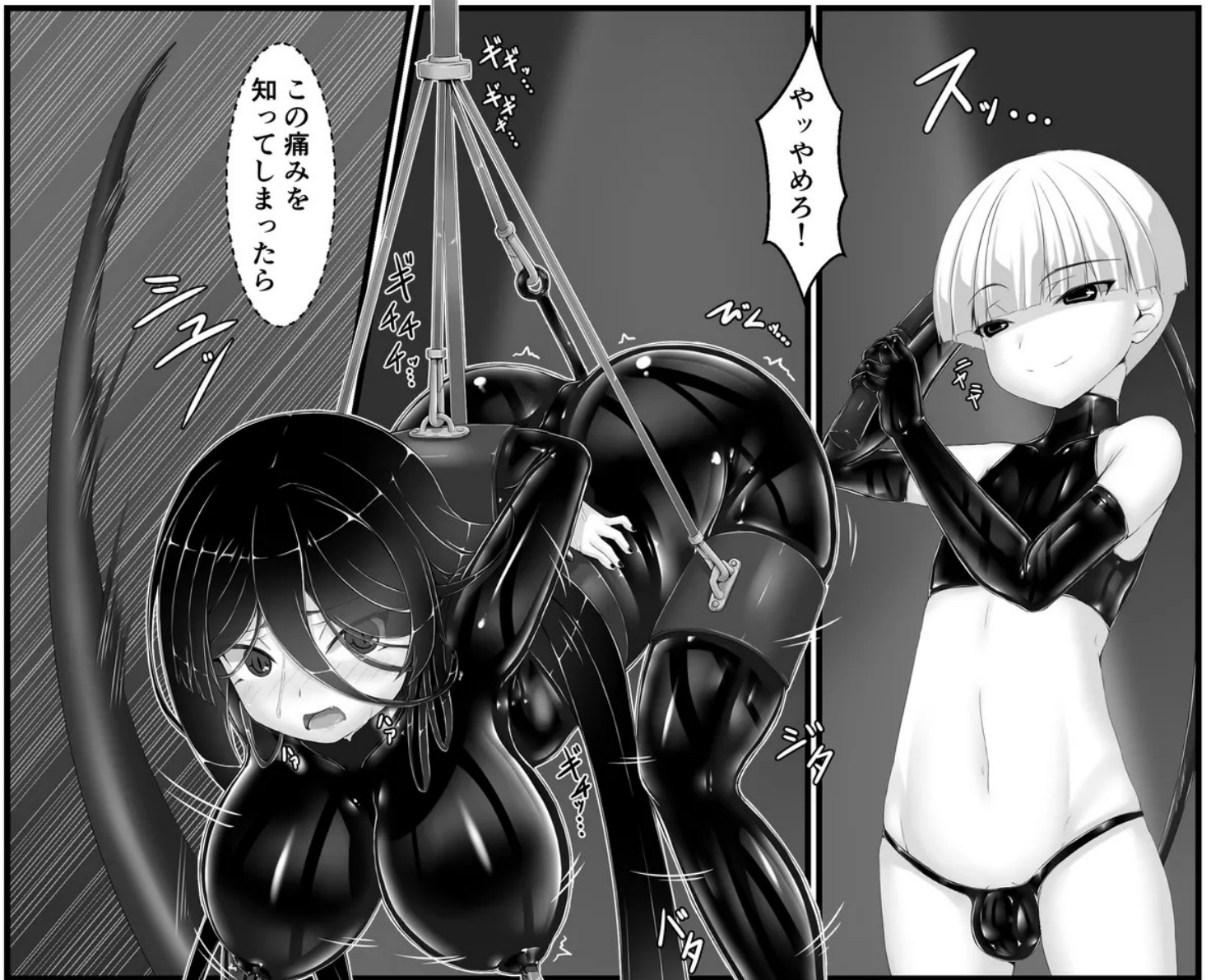
身体の感度は悪くなさそうだが
どうせ連れのガキ共に色々
させてたんだろう

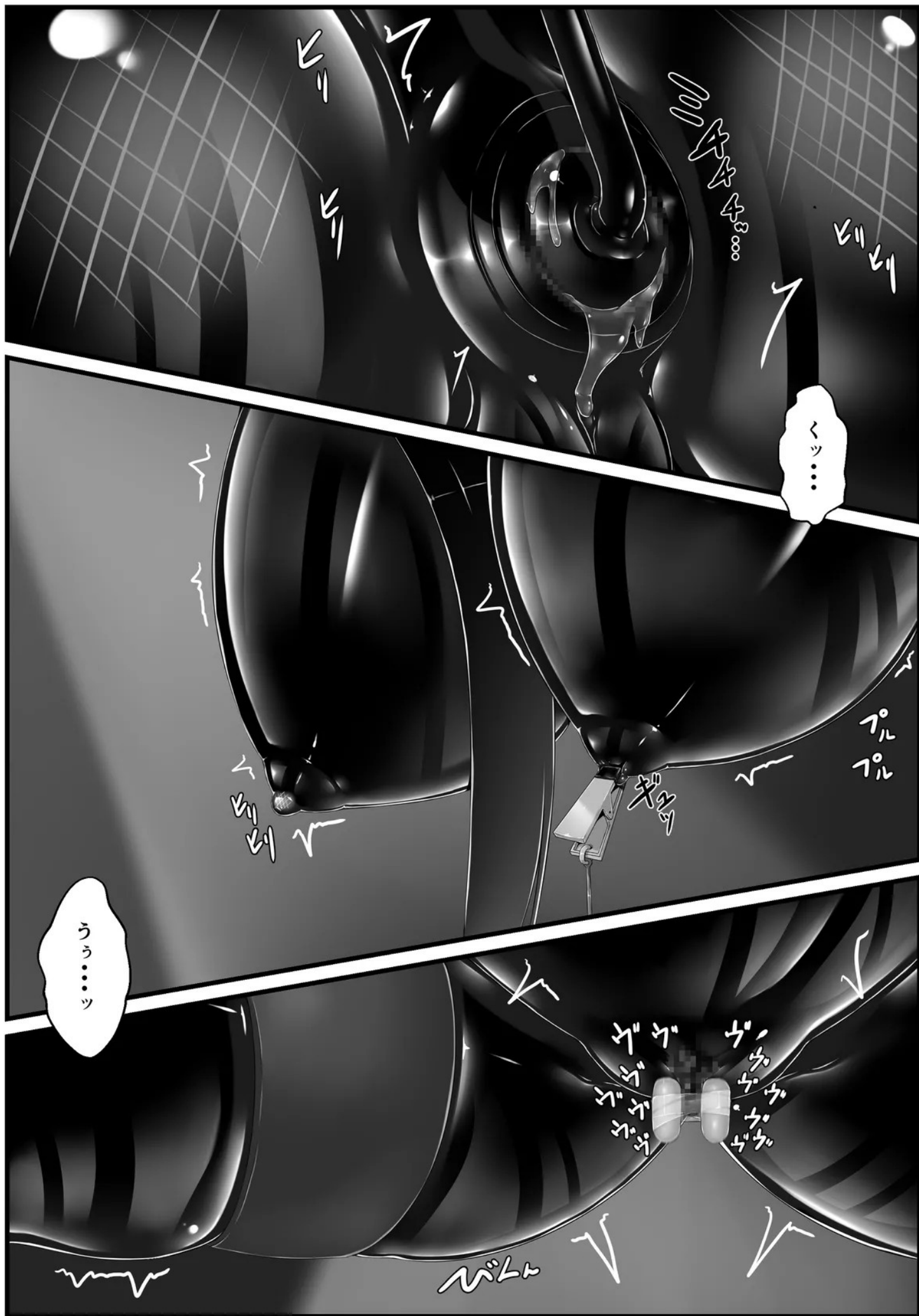




なっ……

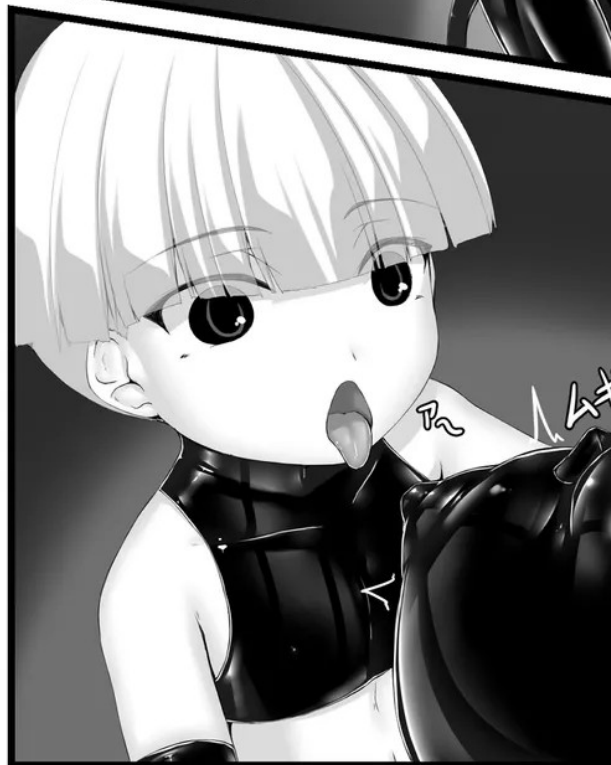
キミは何にしてあげようか？







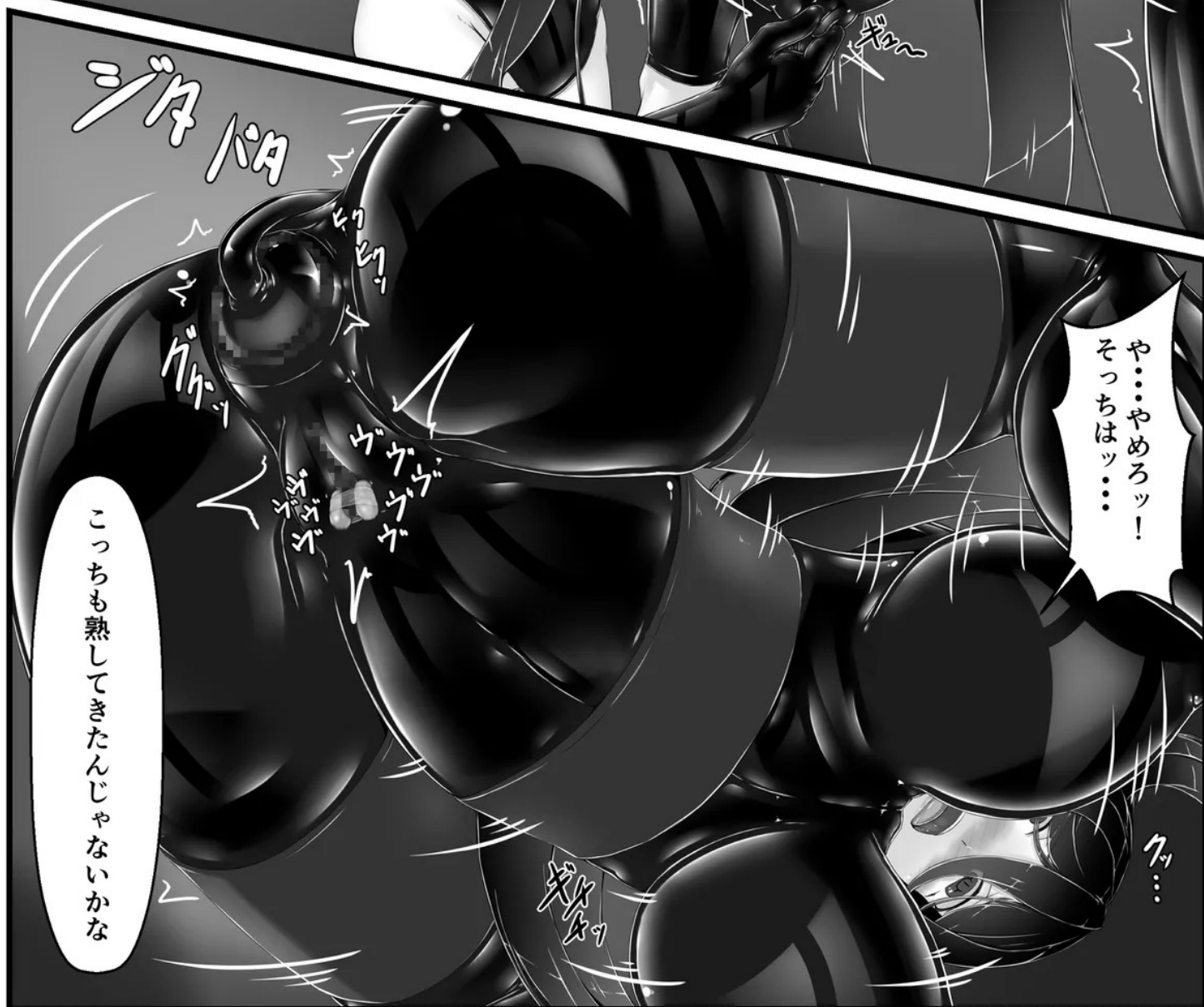
身体が痛みを求めているね
いい感じに育ってきた



黙れっ！痛ッ！

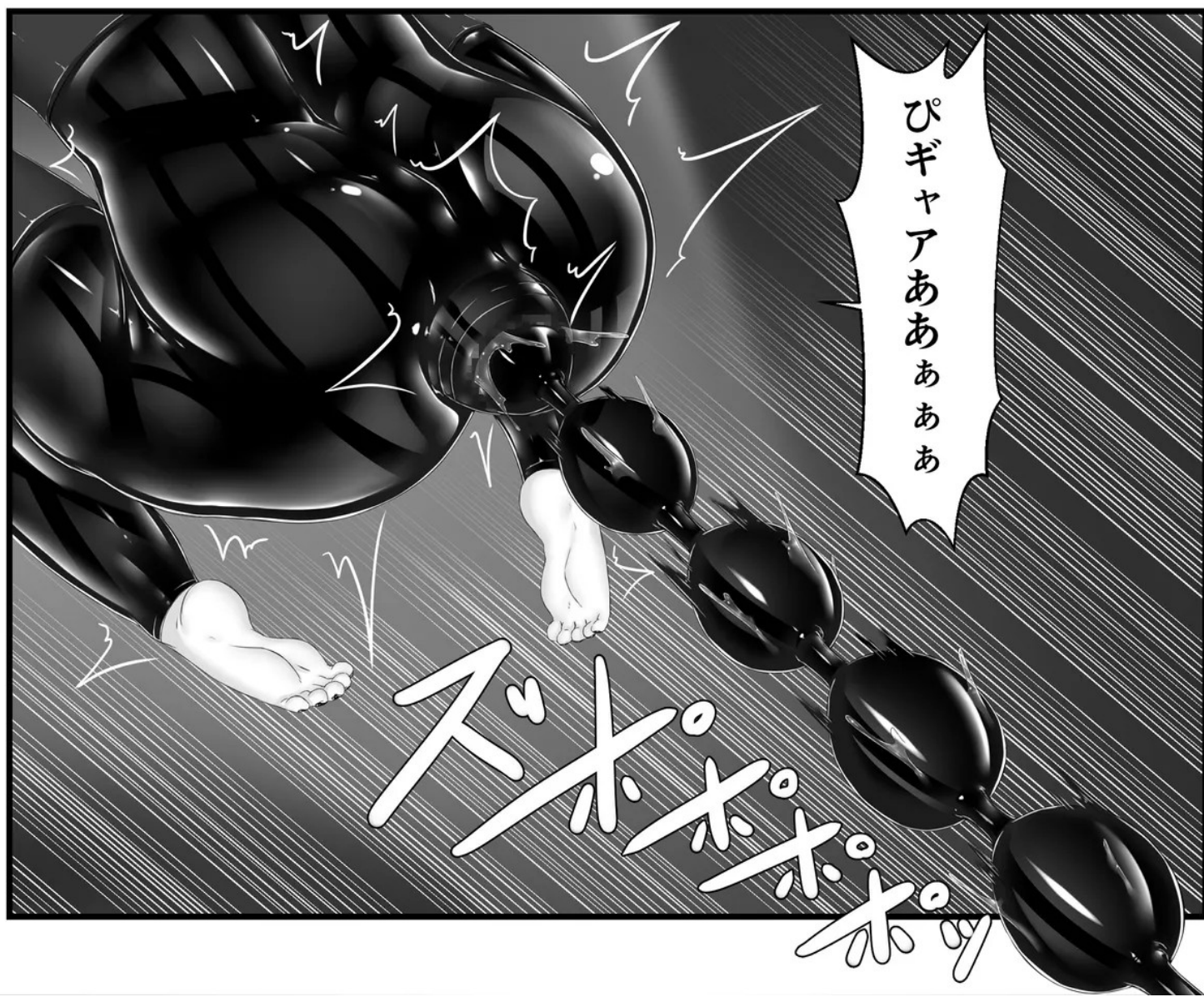


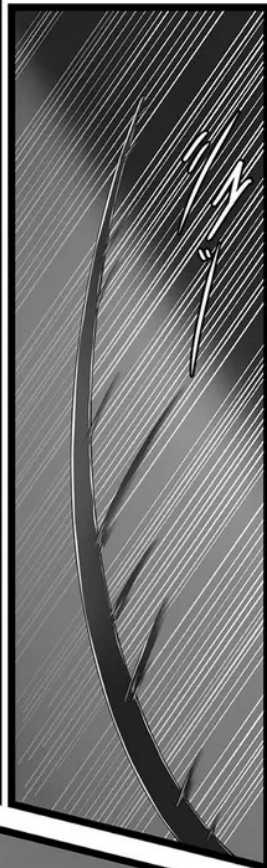
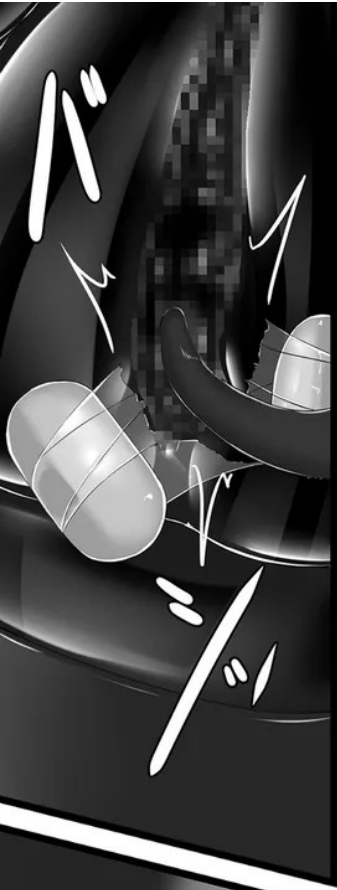
んあっ！



や...やめろッ!
そっちはッ...

こっちも熟してきたんじゃないかな

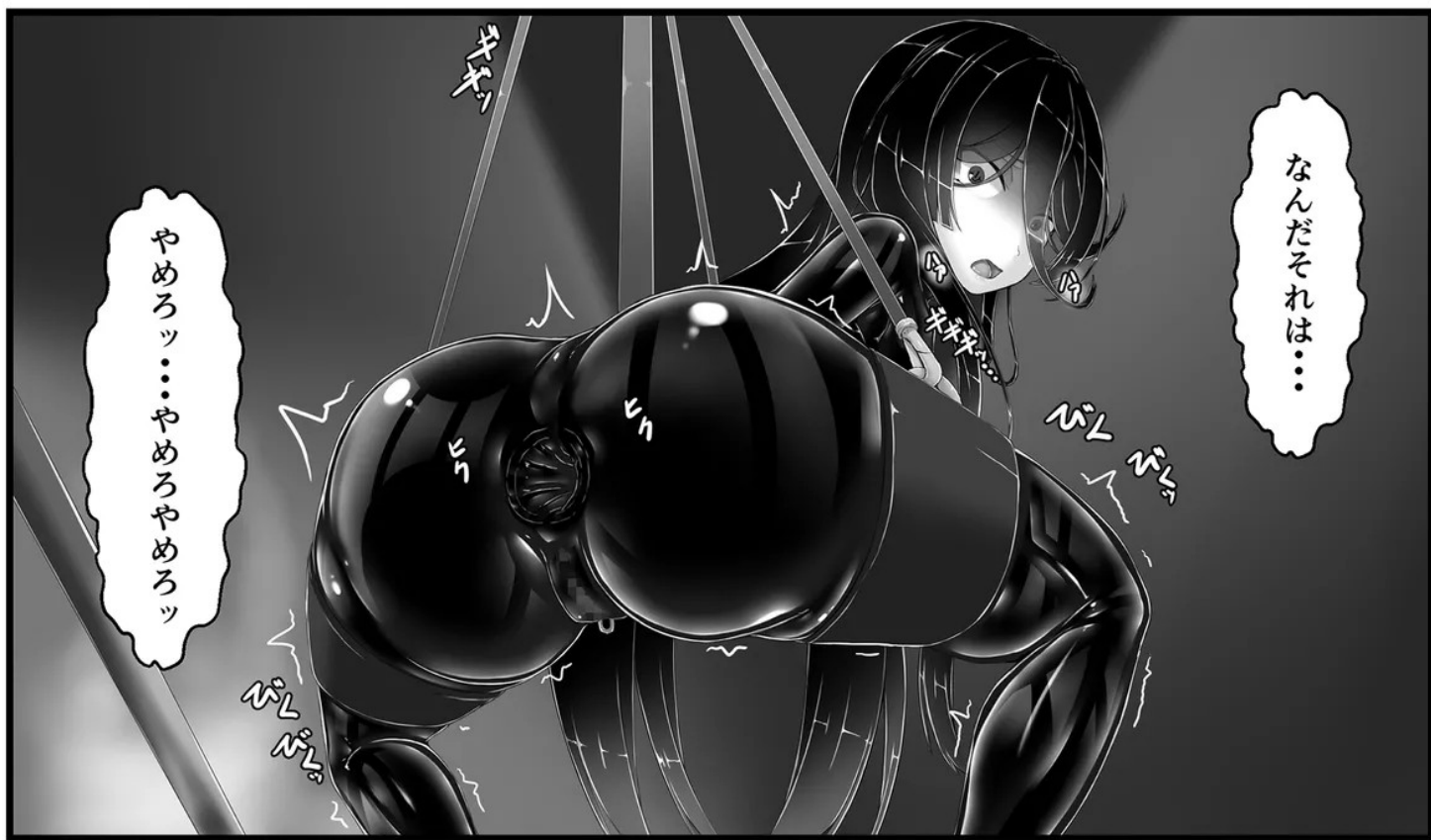
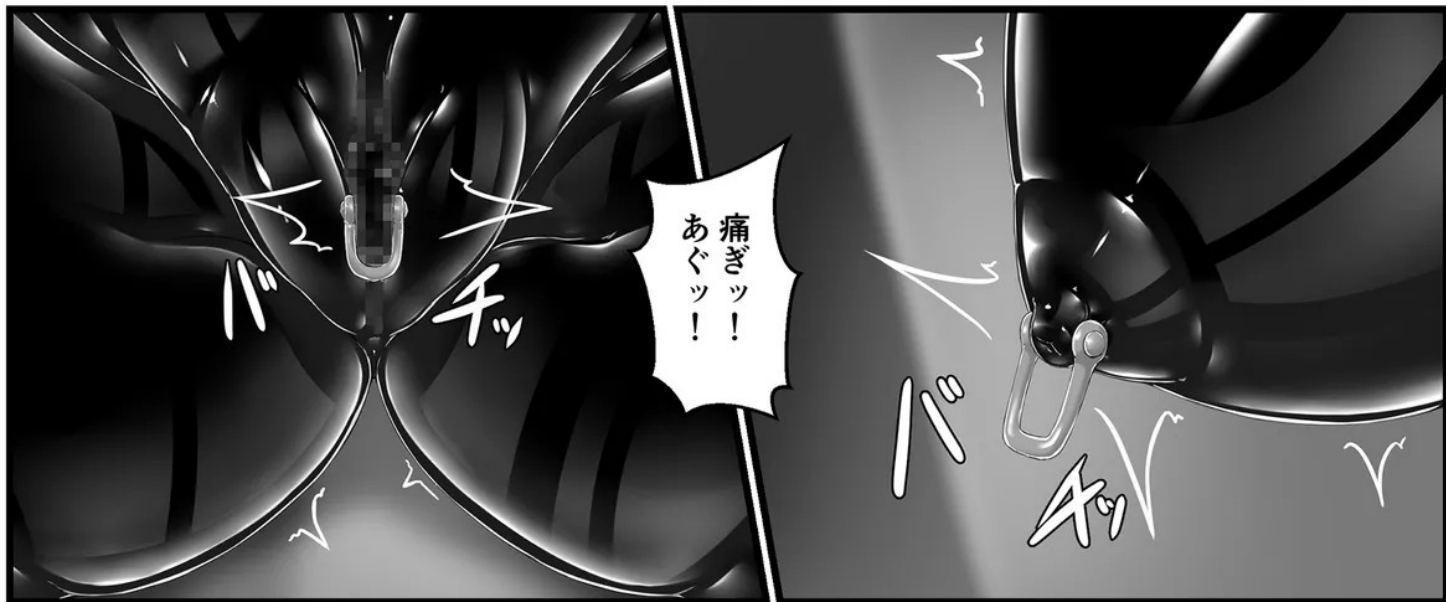




オツ...
オオオ...



ビギヤアアアア



ああやつと起きた
キミを何にするか決めたよ
その為の準備に色々あるから…

なんだ？動けない…
それに視界もボヤけている…

ギム
ギム

ギィ
ギィ

十日程このまま寝ててくれるかな

ギョッ…

なッ…何を言っている？
十日!?こんな格好で
動けないまま十日だとッ!?

大丈夫食事はメイド達が入れてくれるし
排泄は決まった時間に浣腸と吸引してくれるから
それじゃあお休み…

ギョッ…

グッ
ムギョ
ギョ
グッ



その目まだ心は調教されて
いないって感じだね



そんなに嫌がるなよ
数日そのままなんだから
暇にならないように挿れてやったんだから

ふ...ふざけるなア!

次会える日を楽しみにしているよ



まあ時間はあるんだ
じっくり楽しんでくれ

くッ!?
中のが動いてッ



おはよう

ハッ?



なッなんだこれは!?

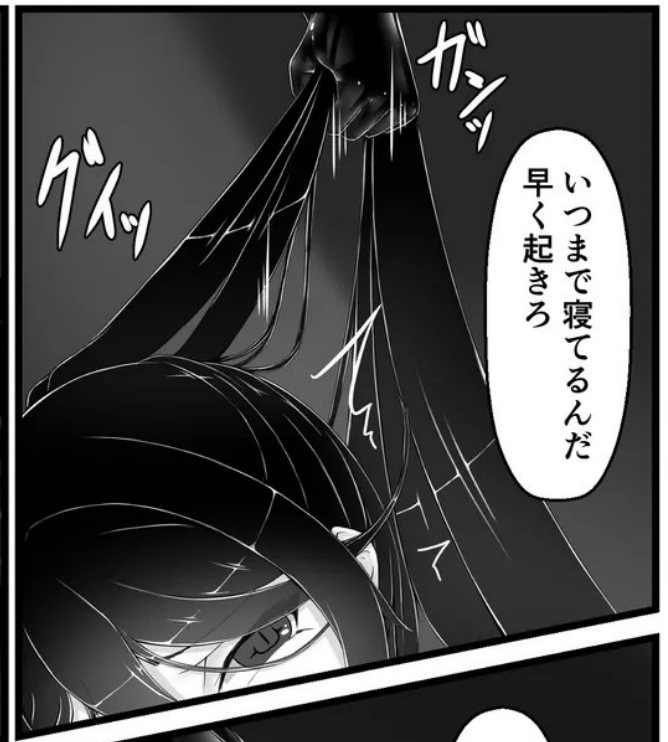


その服はこれからお前が
一生を共に過ごす服だ

ハッ

フザッ...

ギギン



いつまで寝てるんだ
早く起きろ

グインッ

ガンッ



お前はボクのペットになる

ムラ

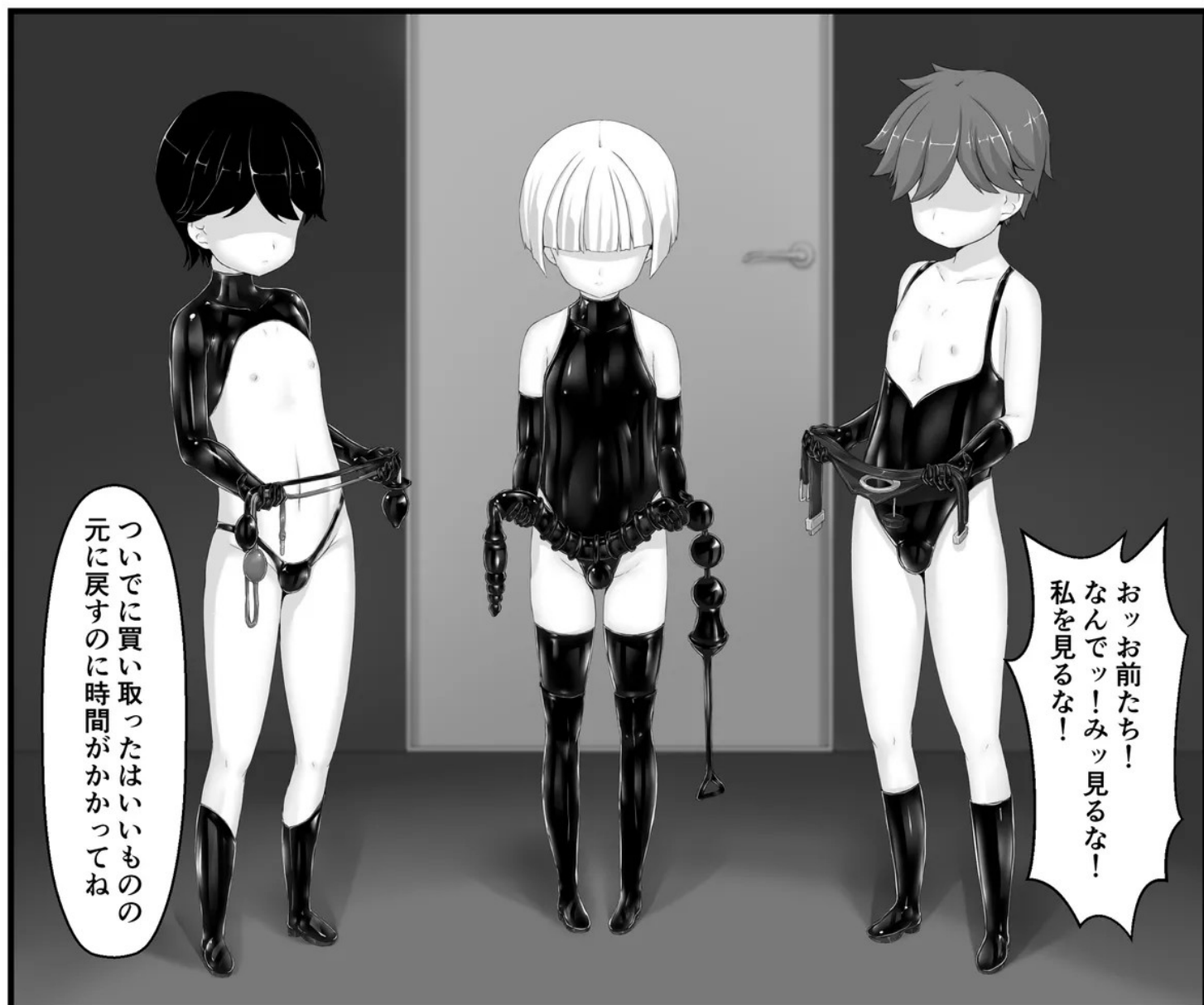
ムラ

ムラッ

ほ...ほしい...ち...ちがうッ!
そんな事思っていない...
なのになぜアナルが疼くッ...
唾液が止まらない
奴のモノから目が離せない

まるで発情したメスブタだな
まあ一週間以上放置だったしな





ついでに買い取ったはいいものの
元に戻すのに時間がかかってね

おッお前たち！
なんでッ！みッ見るな！
私を見るな！



スレイブは魔女の絶対的の下僕だ…
やめろ…やめろお……

彼らいい趣味してるよね
誰の教えかな？

なにを持っているんだお前たち…



アルメリア様どうですか？
気持ちいいですか？

アルメリア様のそのお顔見ると
腰が勝手に動いちゃいます





んっ…アッアルメリア様ごめんなさい
おっ…おしっこでちゃ…あっ

あッ……

ギョッ…



ああ……

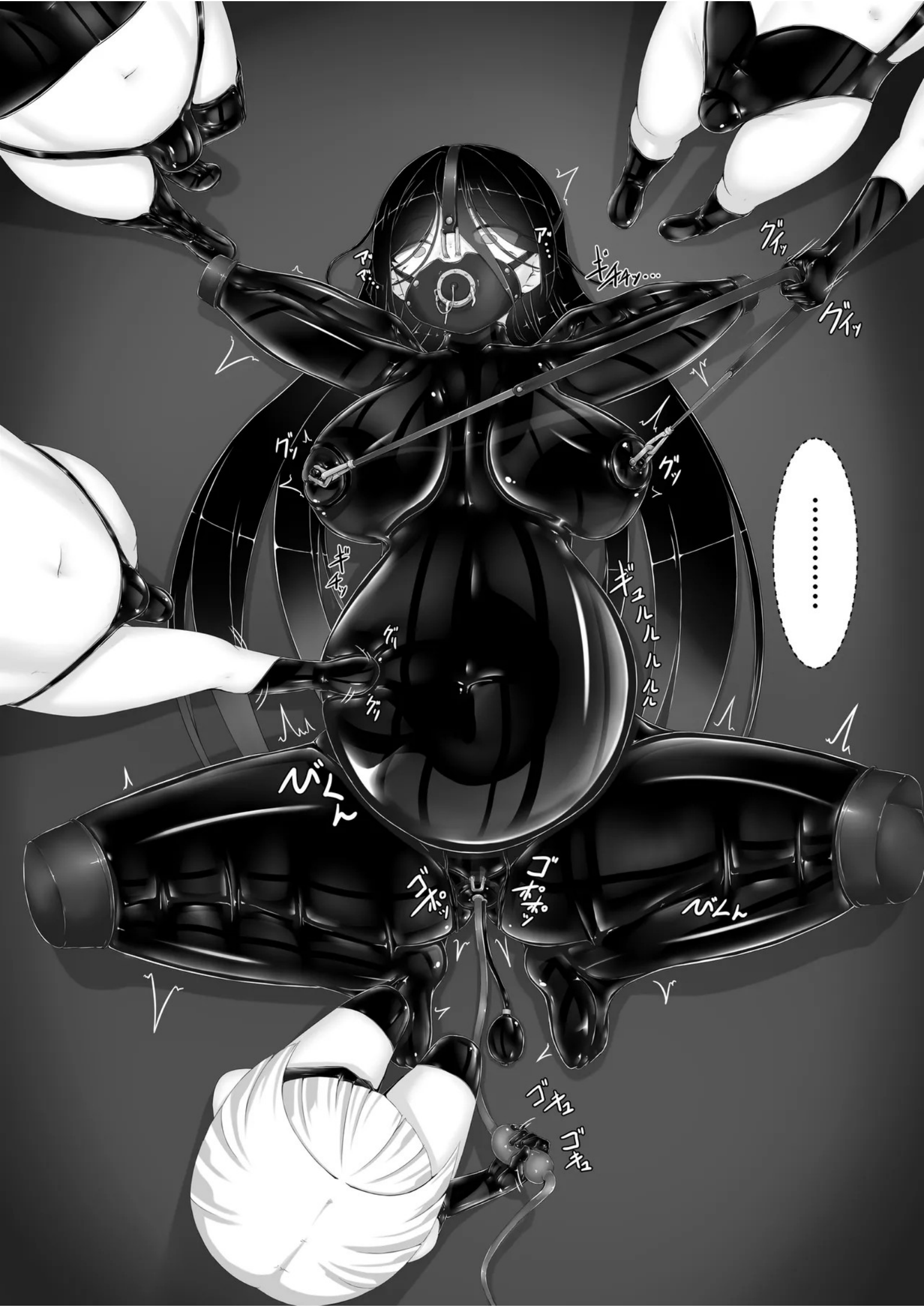
べん

ギョッ

じよぼぼ
ぼぼ
ぼぼ

ブルッ

ギョッ



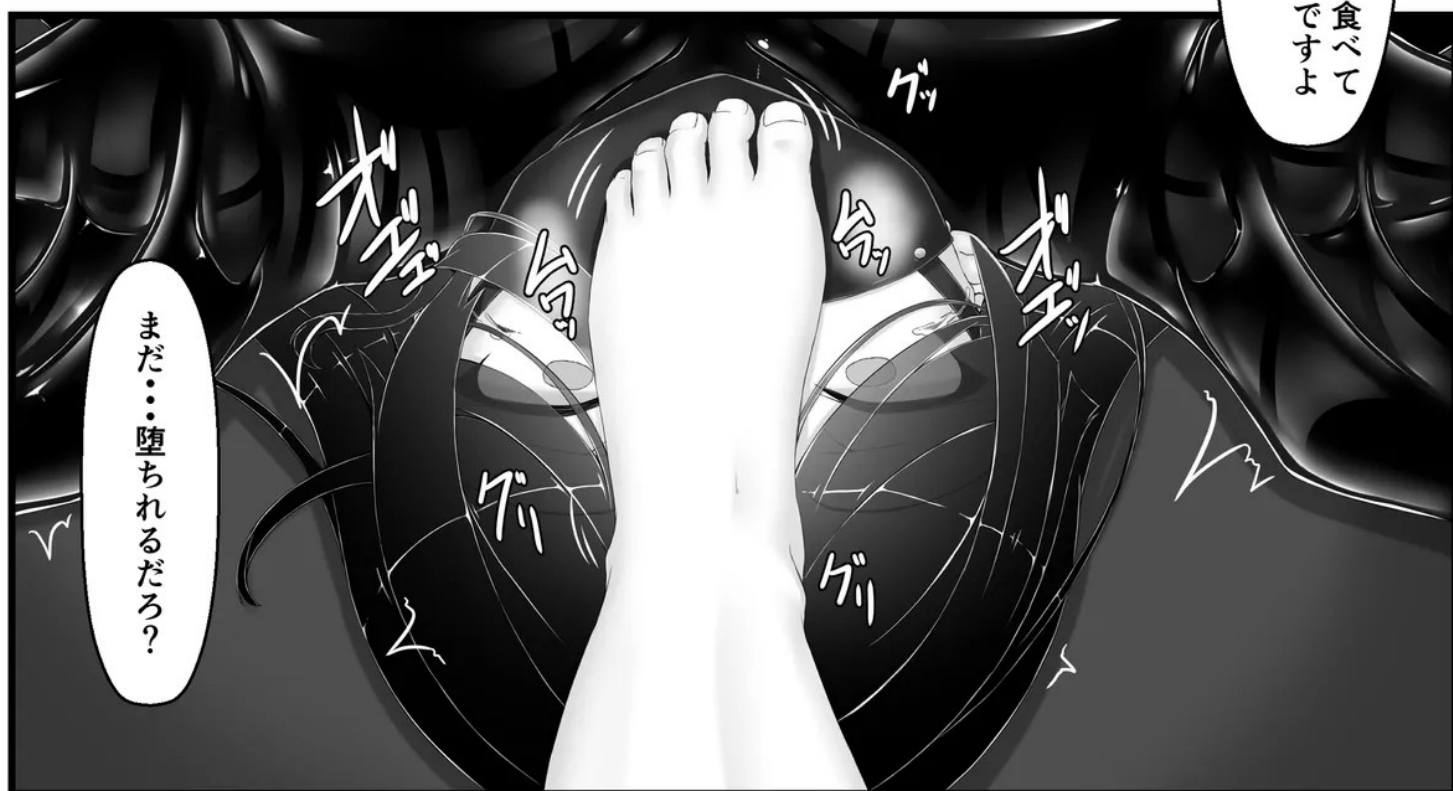


すごいすごい！
アルメリア様のこんな
無様な姿見れるなんて夢みたいだ

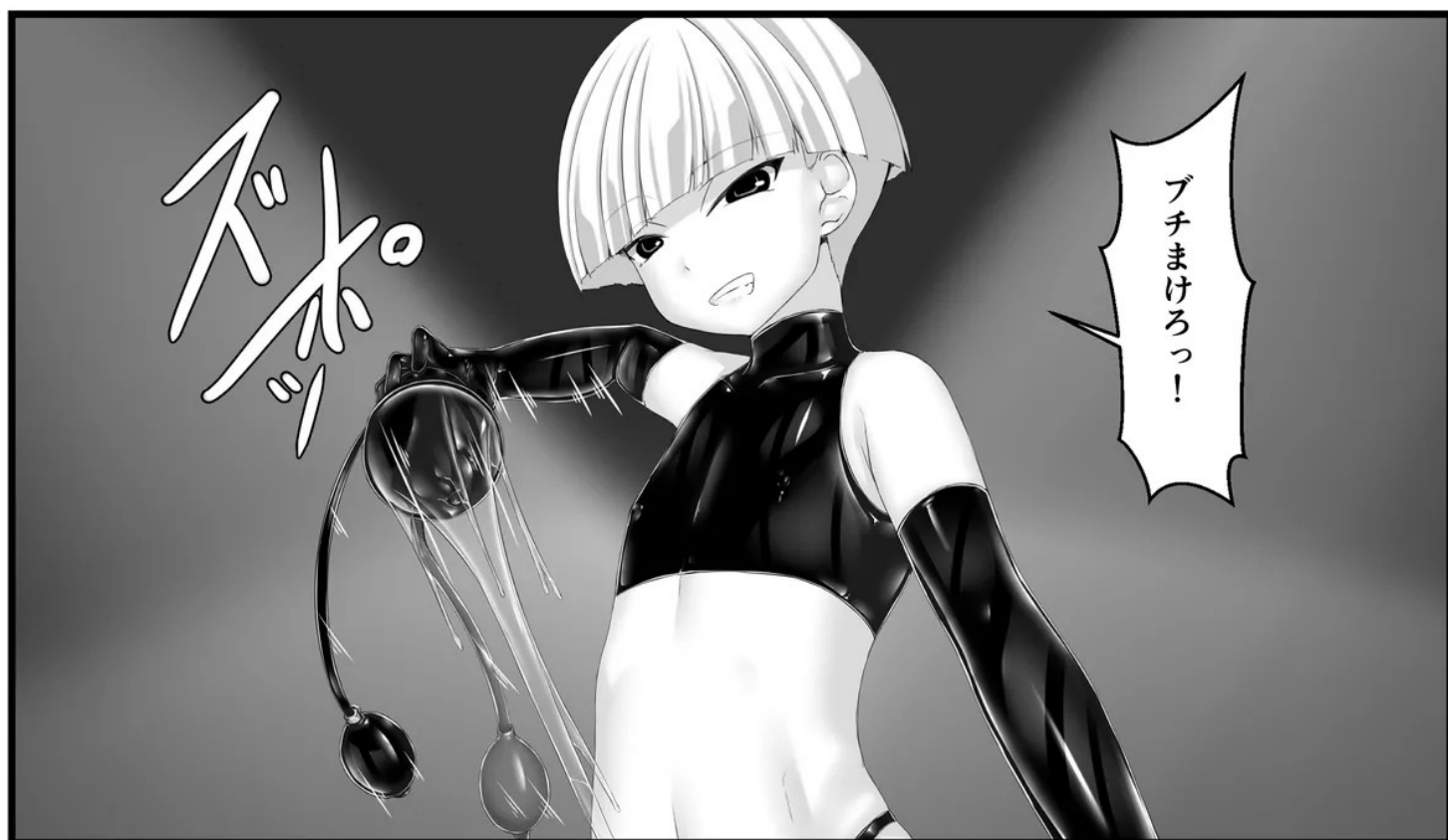
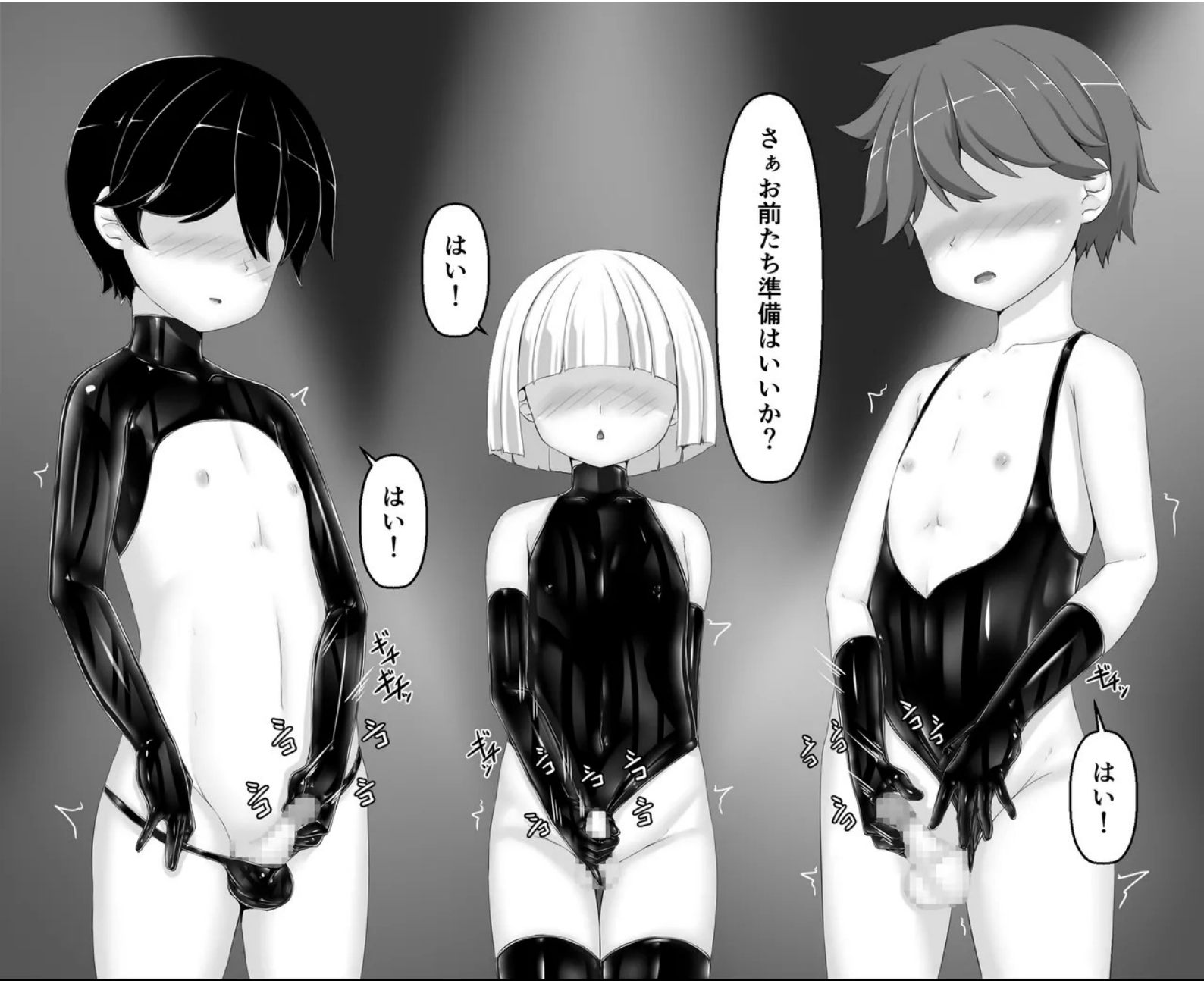
アルメリア様のおっぱい
足で踏むとこんな感じなんだ



お尻からゼリーいっぱい食べて
パンパンのお腹かわいいですよ
アルメリア様

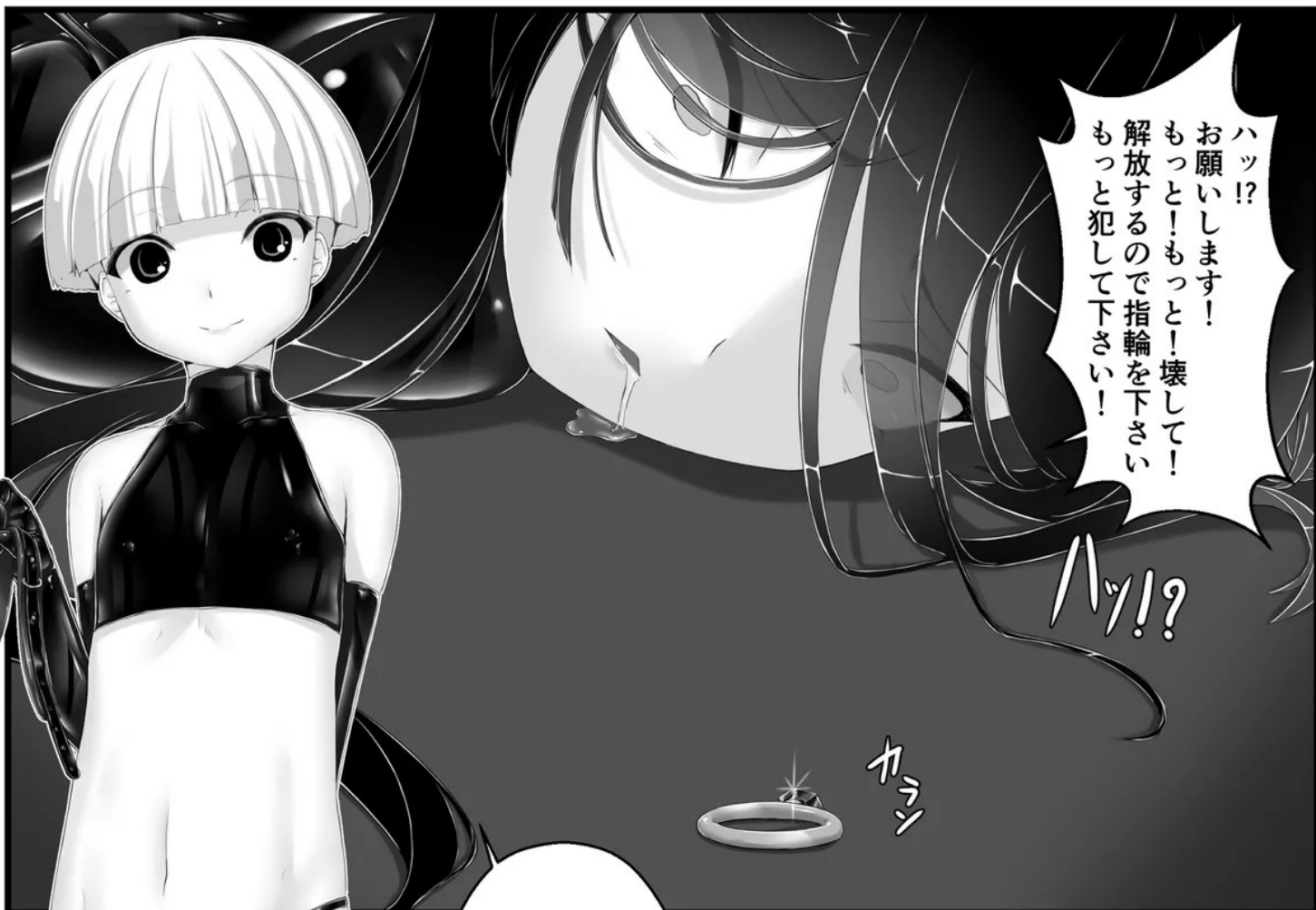
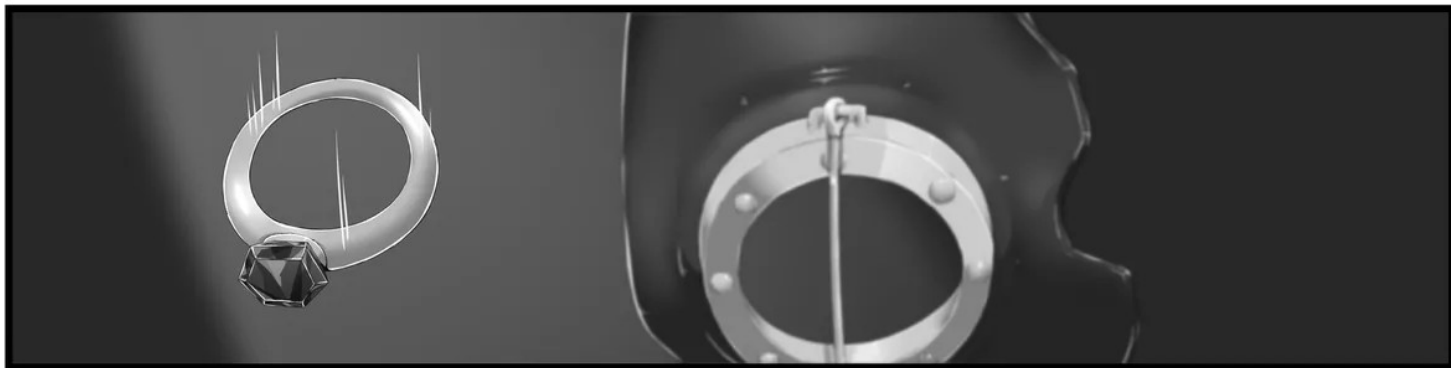


まだ…堕ちれるだろ？



何年生きてきたか知らないが
片田舎の森の奥で魔術などという
オカルトに胡坐をかいた結果
魔術が科学に劣っている事も知らない
世間知らずの魔女の成れの果てが
この様か...





そんな顔するなよ
お前の価値は魔女であることだけ
お前にはケツ穴だけあれば十分だ
これからもお前のアナルを調教してやる
自分に魔術をかけた事を後悔しながら
ボクのペットとして生きろ

なッ...なんで

バキッ

グッ

グッ

あっお父様お母様
おかえりなさい！

新しいペットかい？

はい！
今から散歩に行ってきます！

そうだメイド達に
新しい枕を3つほど作ったんだ
お母様取っちゃだめだよ

あらあら
それは残念ねえ

ではいってきます！
お父様お母様



あとがき

どうもしょーやんです！

黒い果实～没落魔女～ご購入ありがとうございます！

年一回あるかないかないかの巨乳本になります。

今回は尊厳破壊的なものを描いてみました。

導入部分の魔女の私生活をもっと詳しく描きたかったのですが、

それだけで一本描けてしまう内容になってしまったので、

今回はどういうキャラなのかだけわかる部分だけ描きました。

しかし尊厳破壊というのはそれまで積み上げてきた物が無残に

無慈悲に崩れる所に魅力がある事を痛感させられました。

描いてる時は『この魔女はもっと酷いこともやっていてあーでこーで』と

妄想しながら描いていたので、自分の中では温泉浣腸された時の全てを

失ってしまった表情はいいんじゃないかと思っていたのですが、

読み返してみると思い入れのないキャラクターの表情は結構浅く

見えてしまうのかもと思いました。

描く側と読む側の温度差というものをちゃんと考えて描かないといけないと反省しました。

という反省を前々作くらいにしたのを思い出して学習していない残念な自分に凹んでおります。

毎回毎回言い訳ばかり本当にすみません。

魔女に自己投影していただき没落魔女を楽しんでいただけたら幸いです。

ああ…ヤバい貧乳成分が足りない

あとゼリー浣腸率高過ぎて少し自重しよう。

妄想美術部/しょーやん





